



株式会社しらゆり 医療と福祉のなんでも相談室 しらゆり訪問看護ステーション

「誰も置き去りにしない」
地域の課題の解決へ
在宅医療の要を目指す



高崎市

住所 高崎市保渡田町1423-2
TEL 027-373-630
Mail info@shirayuri-kango.co.jp
URL http://www.shirayuri-kango.co.jp/
代表者 関根 京子
設立 2021年1月26日
資本金 100万円
従業員 7人

WEBサイト



企業紹介

令和3年4月より、地域の課題を解決できる訪問看護ステーションを設立しました。町の保健室の様な誰でもいつでも相談できる体制をとり、「医療と福祉のなんでも相談室」も兼ねています。医療と介護の保険、サービス等、お困りの際はいつでもご相談ください。看護師4名、理学療法士1名のチームで、「誰も置き去りにしない。住み慣れた我が家(地域)で安心して生活できるまちづくり」を着実に、丁寧に、看護の力で構築していきたいと考え、日々、業務に取り組んでいます。

経緯・背景

現代は、超高齢化、コロナ禍で、激動の社会を迎えています。難病、がん、認知症、心の病等、更に、独居、介護離職、虐待等、訪問看護は多岐にわたるサポートが必要な時代となりました。その為、在宅医療を中心に、医師とスタッフのチーム力により対応していく必要があります。訪問看護は医療保険、介護保険で主治医が訪問看護の利用を認めた場合、ご利用することができます。安心して穏やかに最期まで生活を送るには訪問看護が必要となります。これからも質の高いサービスを目指してまいります。

住み慣れた家で最期まで 看取り介護をサポート 緊急時の訪問、相談も受付

具体的な取組・成果

設立して1年6か月で看取りを35名実施しました。がん末期のご利用者様、病院から「家に帰りたい」とのご希望で、退院して2日目に家族に困まれながら息を引き取ったご利用者様。猫が大好きで、猫が心配で、家に最期まで一人で過ごしたご利用者様。当訪問看護の看取りの考え方は、関係性があまりよくない家族の場合、看取りのときだからこそ、家族関係が少しでも修復できるように見守り、支援をしております。また、看取り介護を初めて経験する家族が後悔なく、少しでもやり遂げることができるようにサポートしています。

「医療と福祉のなんでも相談室」では、現在約20名の方から相談を受けました。精神科の若いご利用者様は事務所まで足を運んでいただき、人との関わりを通して、社会復帰を目指しております。

緊急時の訪問、ご相談も受け、緊急訪問が必要なときは、休日・夜間でも訪問を実施しています。

これからも様々なケースから、謙虚に学び、看護の振り返りをしながら、看護のレベルを向上させていきたいと考えています。



訪問時の支援の様子



リハビリの様子

当社にとってのSDGsビジョン

- 希望の2030年に向けて
 - ・誰一人取り残さない置き去りにしない看護の提供
 - ・人生最期を迎える方々の最期の想いを支援する看護を提供
 - ・地域全ての方々の健康と幸福をサポートする看護を提供
- 指針
 - 慈悲と励ましの看護で生命の尊厳を探索

このビジョンを掲げ、看護の力で住みよい町づくりを目指す

今後の展望と求めるパートナー像

高齢化に伴い、訪問看護師、ケアマネジャー等、少ない人数で高齢者を支える時代です。その人に合った生活を医療と介護のチームで支えてまいります。住み慣れた家で最期まで生活できる仕組みをつくるのが当事業所の役目と考えています。地域の方々に頼られる社会を構築し住み続けられる町づくりに取り組んでまいります。